

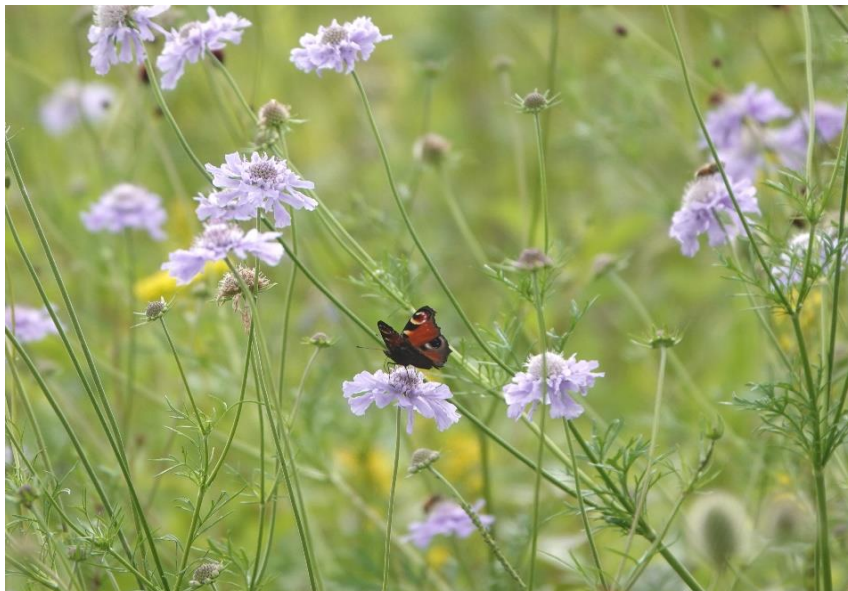
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
クジャクチョウ	タテハチョウ科	赤いクジャク。 但し裏は真っ黒	X	X	X	中部以北の低山地・山地。北海道



入笠山 8月下旬 ゴマナで吸蜜



入笠山 8月下旬 マツムシソウに飛来



入笠山 8月下旬 マツムシソウで吸蜜。赤がひとときわ目立つ



↑个入笠山 裏は真っ黒に近い

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○食草	食樹		発生回数/年			越冬形態					
イラクサ科ほか		1~2		成虫							

ハイム周辺にいる蝶ではありませんが何度も訪れている長野県の入笠山を始め中部以北の低山地・山地ではよく見られ、魅力あふれるタテハチョウなので紹介します。特徴的な4つの瑠璃（るり）色の眼状紋が赤い羽によくマッチして写真映えのする蝶ですが、いつもこの眼状紋を4つとも見せてくれるわけではなくとまり方によっては前羽の2つだけのこともあります。高原のお花畑では濃い赤がひとときわ目立ちますが、羽をたたむと裏側は対照的に真っ黒に近く極めて地味です。ヨーロッパを含むユーラシア大陸に広く分布するタテハで学名は "Inachis io"、ioはギリシャ神話のゼウス（ローマ神話ではユピテル）の恋人の美女、日本産の亜種には、さらにこの"io"に加えて "geisha"（芸者！）とつけられています。



190902 1210 入笠山 ノコンギクで吸蜜



190902 1142 入笠山 マツムシソウで吸蜜



200821 1215 入笠山 マツムシソウで吸蜜



200821 1110 入笠山 切株に降りる